



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ユビキタス

コード番号 3858 URL <http://www.ubiquitous.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐野 勝大

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 森 正章

TEL 03-5908-3451

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	595	28.4	△161	—	△157	—	△159	—
27年3月期第3四半期	463	△16.2	△287	—	△289	—	△289	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	△15.82	—
27年3月期第3四半期	△32.35	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
28年3月期第3四半期	3,186	—	3,046	—	94.9
27年3月期	2,019	—	1,816	—	88.2

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 3,023百万円 27年3月期 1,782百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	940	106.1	△140	—	△136	—	△138	—	△13.29

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	10,385,700 株	27年3月期	9,311,900 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	— 株	27年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	10,060,194 株	27年3月期3Q	8,957,665 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P.3「1.(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)	6
(セグメント情報等)	6
(1株当たり情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における売上高合計は595,103千円となり、通期業績予想に対して、63.3%の達成率となりました。

形態別の内訳では、ソフトウェア使用許諾売上高343,511千円、サポート売上高40,789千円、ソフトウェア受託開発売上高184,887千円、製品売上高15,462千円、及びその他の売上高10,452千円となりました。

なお、第1四半期会計期間より、報告セグメントを、従来の「組込みソフトウェア事業」及び「サービス事業」から、「コネクティビティ事業」及び「組込みソフトウェア事業」の2つのセグメントに変更しております。

セグメント及び分野別の売上内訳及び事業状況は、以下のとおりです。

セグメント	分野	当第3四半期累計期間		前第3四半期累計期間		増減率 (%)
		売上高 (千円)	売上割合 (%)	売上高 (千円)	売上割合 (%)	
コネクティビティ事業	組込みネットワーク関連	241,556	40.6	197,746	42.7	22.2
	サービス&ソリューション関連	99,671	16.7	35,994	7.8	176.9
	小計	341,227	57.3	233,740	50.4	46.0
組込みソフトウェア事業	データベース関連	97,414	16.4	109,560	23.6	△11.1
	高速起動関連	156,461	26.3	120,190	25.9	30.2
	小計	253,876	42.7	229,750	49.6	10.5
合計		595,103	100.0	463,491	100.0	28.4

■コネクティビティ事業

コネクティビティ事業の売上高は、前年同四半期比46.0%増となりました。その主な要因は、組込みネットワーク関連においてロイヤルティ売上が好調であり、契約一時金売上及び受託開発売上も増加したこと、及びサービス&ソリューション関連で製品売上が増加したことによるものです。なお、コネクティビティ事業全体の売上高は、当第3四半期累計期間に対する当初見込額をやや上回る結果となりました。

組込みネットワーク関連は、既存顧客のデジタルカメラ向けのロイヤルティが好調に推移したほか、車載分野において「Ubiquitous DTCP」関連製品の契約一時金、受託開発及びロイヤルティ売上を中心に計上いたしました。また、「Ubiquitous ECHONET Lite」関連製品等が、スマートホーム関連等の新規、既存顧客からの受託開発売上を計上いたしました。

サービス&ソリューション関連は、新規顧客との間における家電機器の消費電力量計測が可能な電源プラグ「Navi-Ene Plug」の製品売上を中心に計上いたしました。

平成27年10月に、楽天株式会社との間で、平成28年春からの電力小売り自由化に向けた住居内のHEMS機器から収集したエネルギー情報を活用し、エネルギー関連サービスをクラウドで提供する企業向けプラットフォームの共同開発に関する基本契約に合意したことを発表しており、具体的な協業内容の検討及び開発を開始しております。

また、(a)平成27年10月にエナジー・ソリューションズ株式会社、サイバートラスト株式会社及びソフトバンク・テクノロジー株式会社と4社でセキュアIoTプラットフォーム共同事業を開始することに合意したことを、(b)平成27年11月には、トレンドマイクロ株式会社との間で、IoT向けセキュリティソリューションの共同開発に合意したことを、さらに、(c)IoT機器(デバイス)に組込まれるデバイス固有の証明書や電子鍵情報などの秘匿データを保護して、セキュアなIoTを実現するセキュアドIoTデバイスソリューション「Ubiquitous Securus」を開発したことを、発表いたしました。

これら(a)～(c)などを通して、セキュアなIoTデバイスやクラウドソリューションをワンストップで提供し、事業者がIoTを活用したサービスを安心、安全に実現できる環境を提供してまいります。

平成27年12月に、マゼランシステムズジャパン株式会社との間で「クラウドを活用した高精度位置測位ソリューション」の実現に関する業務提携に合意したことを発表いたしました。当社の「dalchymia(ダルキュミア)」とマゼランシステムズジャパン株式会社の「高精度マルチGNSS RTKソリューション」を連携し、位置情報と各種センサー情報や映像情報など、自動運転やモニタリングに必要な「クラウドを活用した高精度位置測位ソリューション」としてパッケージ化して提供してまいります。

■組込みソフトウェア事業

組込みソフトウェア事業の売上高は、前年同四半期比10.5%増となりました。

データベース関連は産業機器、OA機器等の既存顧客からのロイヤルティ売上を中心に計上いたしました。平成27年10月に、「Ubiquitous DeviceSQL」が、ティアック株式会社のハイレゾ対応ポータブルヘッドホンアンブ/プレーヤー「HA-P90SD」に採用されたことを発表いたしました。

高速起動関連は、車載機器の新規、既存顧客からのロイヤルティ売上を中心に、受託開発売上、及び新規顧客からの案件も含めた契約時一時金売上を計上いたしました。既存顧客の搭載製品の出荷が好調に推移しており、売上に貢献しております。引き続きカーナビゲーションシステム等車載機器向けの端末を中心に、複数社との間で大・中規模案件の研究開発、及び商品化に向けた新規案件の受注も含めた実装を継続しております。また、海外案件も活発化してきており、いくつかの評価案件について対応しております。

平成27年12月に、「Ubiquitous QuickBoot」が株式会社JVCケンウッドのAVナビゲーションシステム 彩速ナビゲーション「MDV-L503W」「MDV-L503」に採用されたことを発表いたしました。

営業費用面では、役員及び従業員等の人件費として389,874千円(前年同四半期比2.2%増)及び、経費として479,721千円(同5.8%減)を計上しました。なお、これらの人件費・経費のうち研究開発費は85,462千円(同13.7%減)です。

以上の結果、営業損失161,098千円(前年同四半期営業損失287,193千円)、経常損失157,193千円(同経常損失289,031千円)、四半期純損失159,162千円(同四半期純損失289,861千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末より1,166,998千円増加して3,186,719千円となりました。流動資産は、有価証券及び仕掛品の増加等により、前事業年度末より1,121,515千円増加して2,877,494千円となりました。固定資産は、投資有価証券の増加等により45,483千円増加して309,224千円となりました。

一方、負債は、前事業年度末より63,077千円減少して140,392千円となりました。流動負債は、未払金及び資産除去債務の減少等により前事業年度末より64,896千円減少して102,698千円となり、固定負債は37,693千円となりました。

純資産は、前事業年度末より1,230,076千円増加して3,046,327千円となりました。資本金及び資本剰余金は、新株予約権の行使により前事業年度末からそれぞれ698,090円増加して資本金1,456,562千円、資本剰余金1,426,562千円となり、利益剰余金は、四半期純損失159,162千円の計上により101,058千円となりました。

以上により、自己資本比率は、前事業年度末の88.2%から94.9%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成28年2月12日、通期の業績予想を修正いたしました。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	997,161	996,622
売掛金	278,245	130,431
有価証券	399,936	1,699,867
商品及び製品	4,970	4,712
仕掛品	2,297	22,761
前払費用	20,654	16,801
1年内回収予定の差入保証金	47,031	—
その他	5,682	6,298
流動資産合計	1,755,979	2,877,494
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	50,098	42,966
工具、器具及び備品(純額)	1,465	3,483
有形固定資産合計	51,564	46,449
無形固定資産		
ソフトウェア	50,576	17,241
ソフトウェア仮勘定	5,498	11,521
無形固定資産合計	56,075	28,763
投資その他の資産		
投資有価証券	121,050	187,363
差入保証金	35,050	35,050
その他	—	11,596
投資その他の資産合計	156,101	234,011
固定資産合計	263,740	309,224
資産合計	2,019,720	3,186,719
負債の部		
流動負債		
買掛金	21,932	19,985
未払金	69,978	29,245
未払費用	10,487	14,917
未払法人税等	4,755	6,701
未払消費税等	23,011	11,864
前受金	15,329	18,053
預り金	3,856	1,931
資産除去債務	18,244	—
流動負債合計	167,595	102,698
固定負債		
繰延税金負債	21,299	23,105
資産除去債務	14,574	14,587
固定負債合計	35,873	37,693
負債合計	203,469	140,392
純資産の部		
株主資本		
資本金	758,471	1,456,562
資本剰余金	728,471	1,426,562
利益剰余金	260,221	101,058
株主資本合計	1,747,164	2,984,183
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	34,866	39,137
評価・換算差額等合計	34,866	39,137
新株予約権	34,220	23,005
純資産合計	1,816,251	3,046,327
負債純資産合計	2,019,720	3,186,719

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高		
ソフトウェア使用許諾売上高	326,316	343,511
サポート売上高	31,585	40,789
ソフトウェア受託開発売上高	100,010	184,887
製品売上高	3,298	15,462
その他の売上高	2,281	10,452
売上高合計	463,491	595,103
売上原価	269,895	253,233
売上総利益	193,595	341,870
販売費及び一般管理費		
役員報酬	41,381	48,928
給料及び手当	162,815	177,160
法定福利費	20,450	24,841
広告宣伝費	9,988	21,404
減価償却費	—	4,222
不動産賃借料	27,779	24,501
支払手数料	77,100	62,461
消耗品費	2,531	3,237
研究開発費	99,020	85,462
その他	39,720	50,748
販売費及び一般管理費合計	480,789	502,968
営業損失(△)	△287,193	△161,098
営業外収益		
受取利息	380	194
有価証券利息	525	1,864
受取配当金	915	1,220
雑収入	1,220	641
営業外収益合計	3,040	3,920
営業外費用		
為替差損	0	15
新株予約権発行費	4,878	—
営業外費用合計	4,878	15
経常損失(△)	△289,031	△157,193
特別利益		
新株予約権戻入益	209	—
特別利益合計	209	—
特別損失		
減損損失	5,774	—
特別損失合計	5,774	—
税引前四半期純損失(△)	△294,596	△157,193
法人税、住民税及び事業税	2,023	2,204
法人税等調整額	△6,758	△235
法人税等合計	△4,734	1,969
四半期純損失(△)	△289,861	△159,162

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

新株予約権の行使により、当第3四半期累計期間において、資本金及び資本剰余金がそれぞれ698,090千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が1,456,562千円、資本剰余金が1,426,562千円となっております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりです。

	前第3四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
減価償却費	107,674千円	48,696千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	コネクティビティ事業	組込みソフトウェア事業	
売上高			
外部顧客への売上高	233,740	229,750	463,491
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	233,740	229,750	463,491
セグメント利益又は損 失(△)	△300,051	12,858	△287,193

(注)セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第3四半期累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	コネクティビティ事業	組込みソフトウェア事業	
売上高			
外部顧客への売上高	341,227	253,876	595,103
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—
計	341,227	253,876	595,103
セグメント利益又は損 失(△)	△188,155	27,056	△161,098

(注)セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期会計期間より、IoT時代のソリューションプロバイダーを目指し事業体制を再編したことにより、報告セグメントを従来の「組込みソフトウェア事業」及び「サービス事業」から、「コネクティビティ事業」及び「組込みソフトウェア事業」の区分に変更しております。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

変更後の事業内容	提供する製品・サービス
コネクティビティ事業	組込み機器向けのネットワークソフトウェア、クラウドプラットフォーム、スマートサービスソリューション
組込みソフトウェア事業	スマートデバイス的高速起動技術、デバイスデータ管理ソリューション、車載機器向けLinuxソリューション

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額(△)	△32円35銭	△15円82銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(△)(千円)	△289,861	△159,162
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純損失金額(△)(千円)	△289,861	△159,162
普通株式の期中平均株式数(株)	8,957,665	10,060,194
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	平成26年12月8日の取締役会決議に基づく第三者割当による行使価額修正条項付第11回新株予約権(目的となる株式の数1,500,000株)	該当事項はありません。

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。